

【経営革新計画】

環境変化を乗り越えるため

2度目の経営革新計画を県知事から承認

かつの商工会（有安心サービス

弊社は平成3年に創業、保険代理店業として地域に根ざしたサービスを展開してきました。しかし平成13年の保険業法改正により保険販売への金融機関等の参入が相次ぎ、第の転換期を迎えました。新たな活路を求め「広告・デザイン業」への参入を決意、計画を練り上げ平成17年に県の経営革新計画承認を受け、「デザイン部門」を設立しました。地域密着でニーズを掘り起こし、広告デザイン、ホームページの制作、ユニフォームプリントなども手がけ、従業員を3名新



4つのサービスをしっかりアピールした店頭



右が代表者の安保朗さん

規雇用するまでに業務を拡大してきました。

それから10年、第二の転換期を迎えます。人口減少に伴う地域産業の衰退など、市場の収縮が著しく、売上確保が難しいとの危機感から、更なる経営革新をめざした計画づくりに着手しました。「コンサルタント業」を業務拡充しようとして2度目となる県の承認を受けたのが27年5月でした。

新たな取り組みはデザイン事業で蓄積した技術・ノウハウを基軸として、中小企業者等の商品開発やCI戦略、ブラン

ド力の確立などを総合的に支援する「ブランディング・サポート部門」の新設で、商品開発や改良の段階から、商品そのものの需要開拓と地域外への販路開拓を総合的にサポートするビジネスモデルを構築しました。

更には、この10月に国のものづくり・商業・サービス革新事業の採択を受け、小ロットの制作物に対応した立体印刷やレーザー加工を行う設備導入が実現できる運びとなり、自社対応で納期や利益率の向上を達成するものです。

このように環境変化を乗り越えようと、新規参入や業務拡大を繰り返してきましたが、いつも傍には、専門家や商工会の経営指導員の助言・サポートがありました。経営革新計画承認という県知事のお墨付きの「確かな計画」を持つことにより、補助金をはじめとした資金調達に近づくことも経験しました。今後は、弊社も地域事業者の発展を支える立場として、危機を乗り越えるため、あるいは、ビジネスチャンスをつかむための「計画づくり」の重要性を伝え、地域とともに歩んでいきたいと思っています。

秋田県商工会地域景況判断ボード

平成27年7月～9月期

● 概要 … 景況感改善続くも鈍化傾向

業況DI値は前期より好転が0.3ポイント(8.5%→8.8%)上昇、悪化が3.4ポイント(38.1%→34.7%)低下したことから、全体としては3.7ポイント上昇の▲25.9ポイントとなった。

DI値は小幅ながら上昇したものの、材料費等仕入れ単価上昇、技術者の人手不足を顕著とする企業が多く見受けられ、景況は予断を許さない状況にある。

● 景気動向天気図

地区別	4月～6月(前期)	7月～9月(今期)	10月～12月(見通し)
北部	 (▲27.3)	 (▲23.6)	来期の業況は小売業は横ばい、製造業は好転の見通しである。
中央部	 (▲34.4)	 (▲32.2)	来期の業況は製造業が横ばい、建設業・サービス業が好転する見通しである。
南部	 (▲27.6)	 (▲22.5)	来期の業況は、小売業が横ばい、製造業・建設業・サービス業は好転の見通しである。

業種別	4月～6月(前期)	7月～9月(今期)	10月～12月(見通し)
製造業	 (▲14.3)	 (▲12.7)	 (▲9.5)
建設業	 (▲22.9)	 (▲18.8)	 (▲8.4)
小売業	 (▲44.3)	 (▲36.7)	 (▲41.0)
サービス業	 (▲30.7)	 (▲28.9)	 (▲28.9)

【天気図】 前年同期比のDI値をもとに作成



対象企業数
県内21商工会地区
294企業
回答企業数
294企業
(回答率:100%)

※「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。